

# 龍王山から南方尾根縦走 歩き甲斐のある健脚向コース

中国バスの「八幡神社前」バス停からJR三原駅まで、龍王山・板屋山・桜山を經由する縦走コースを紹介する。歩き甲斐のある健脚向けコースである。

距離は約12Km、累積標高差が約+1000m。歩行時間は6から7時間。(尚、地図や標識では「竜王山」と「龍王山」の両方が混在する)

「八幡神社前」バス停から御調八幡宮へ向け一般道を進む(約600m)。宮内には大きな案内板(中国自然歩道の)がある。登山口①は宮内の一角にあり、標識が設置されていて、龍王山まで2.5Kmとある。よく整備された登山道をまっすぐ登る。約50分で稜線に出て、ここが八幡峠②である。十字路の分岐となっているが、ここを案内標識に従って右折する。25分も歩くと龍王山(665m)の頂上③に着く。途中、奥ノ院への分岐がある(奥ノ院へは

片道200m)。龍王山の頂上には、三原山の会が設置したポストや標識、広島県が立てた標識(ここでは竜王山と記されている)もあるが眺望は全く効かない。展望はここから5分程先へ進んだ所にある東屋(展望所)④で得られる。瀬戸内海・みはらし連山そしてこれから歩く尾根筋が見渡せる。休憩と眺望を楽しんだら、先へ進もう。急な下りそしてまた登りを繰り返し高度を下げると、約35分ですり下り分岐⑤に着く。中国自然歩道は右折して八坂峠として大峰山&仏通寺へと続いているが、我々は三原山の会が設置した標識(竜王山南方尾根コース)の「桜山」方向へと直進(南下)する。ここからの道は、広くてよく整備された中国自然歩道とは違い里山の山道となる。道なりに南下し35分程歩くと、三角点のある550mピーク⑥、そしてその先に展望の効く板屋山と命名された地点⑥に着く。ここからは、一路下りが続く。500m程下ると、駒ヶ原町方面や齋場へ下りる分岐⑦に出るが、直進し南下を続ける。これから先は終点まで、途中道が少し分り難い所もあるが、テープが随所に巻かれているので、見落とさず進むこと。旧光谷分岐(今は荒れて歩行困難)を過ぎて間もなく、道中で唯一の崖に面した稜線歩き箇所(通称「馬

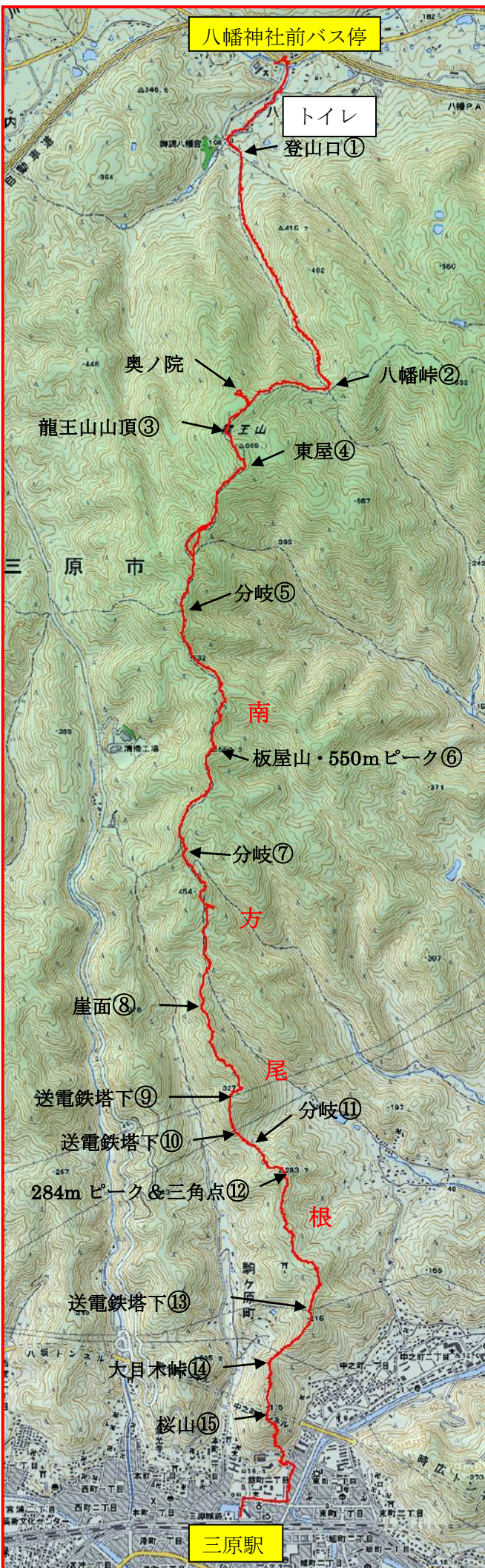
の背」⑧)に出る。慎重に通過して送電鉄塔下⑨&⑩へ。⑩では展望が開け三原市街や瀬戸内海そしてこれから向かう桜山も視界に入る。⑩からの急な下りを終えた所が分岐(中之町・駒ヶ原への)⑪である。そこから更に10分弱登り返したピークが三角点のある284mピーク⑫である。ここで、直角に曲がって進むので、標識を見落とさない事。これから先、道がはっきりしない所も多いので、テープを見逃さない様に。どんどん下り三番目の送電鉄塔下⑬を通過し下りきった所が大目木峠⑭である。桜山に向けて最後の登り返しを終えると、桜山(175m)⑮に着く。桜山は南北に細長く頂上の南端からは三原市街が目の前に見える。桜山南端から少し下った所で道は二つに分かれるが、道なりに(直進)下山し、広大付属幼・小・中学校を回り込み三原駅へ行くのが分り易いだろう(この辺りの詳細は「桜山」のページを参照)。

## アクセス

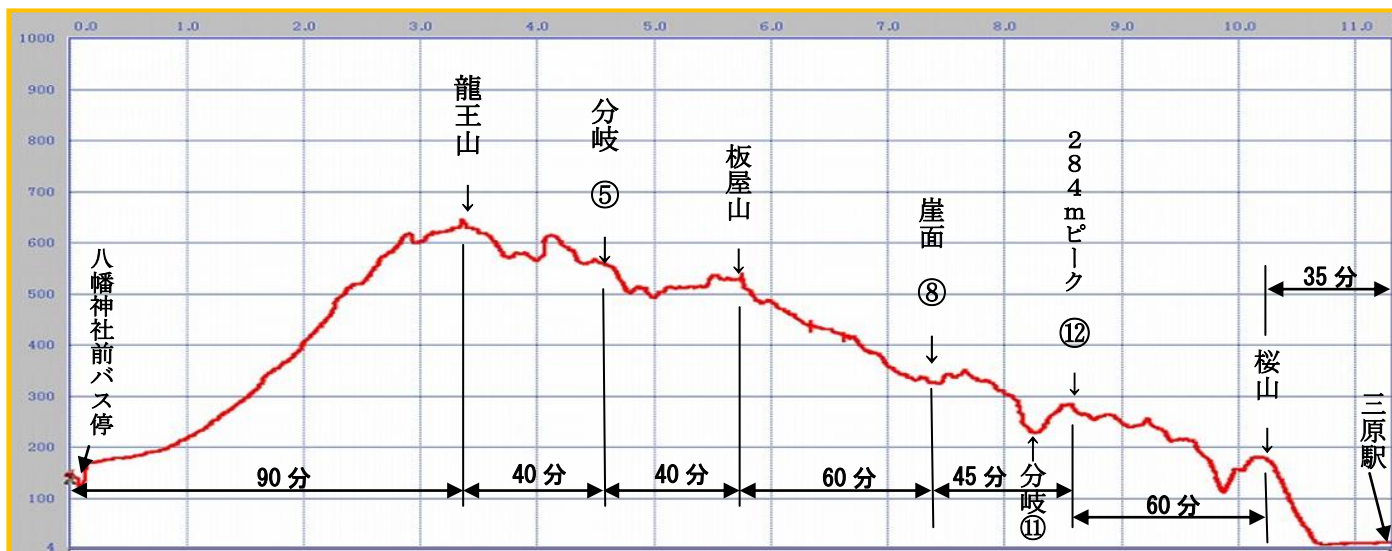
三原駅から中国バスの「八幡線」で「八幡神社前」下車

## チェックポイント

以下の写真を参照されたい。







龍（竜）王山 山頂 ③



東屋：展望所 ④



分岐 ⑤ 右折せず、桜山方向へ直進



板屋山の標識が掛る展望場所 ⑥



崖面が現れる場所（通称「馬の背」）⑧



送電鉄塔下 ⑩ 三原市街・桜山が見える